

2014年6月10日

## 上海世界旅行博覧会 2014 出展について

愛知県上海産業情報センター  
安田 龍

### 1 中国人訪日観光客の状況

中国人訪日観光客は、主に団体観光と個人観光に分かれますが、2012年の尖閣諸島の国有化問題以降、団体観光の新規予約はほぼストップし大幅に減少した一方で、個人観光は団体観光に比べ影響は少なく、大きく減少することなく推移していました。

2013年後半あたりから、団体観光への影響も少なくなってきており、個人観光では同月比で過去最高記録を更新する状況が続いています。

日本政府観光局発表によると、2014年に入ってから中国人訪日観光客数は、1月から4月までの4か月間で668,600人（推計値）となっており、2013年の355,629人と比較すると、88パーセント増となっています。

### 2 上海世界旅行博覧会 (World Travel Fair) 2014

5月9日から11日の3日間、上海市内の上海展覧中心で上海世界旅行博覧会 (World Travel Fair) 2014 (以下、) が開催されました。

このWTFは、上海市観光局とVNU Exhibitions Europeが共同で主催する華東地区で最も人気の高い旅行展示会になります。

今年で11回目の開催となりますが、昨年は日中関係の影響により、日本関係者は出展することができませんでしたが、今年は愛知県産業情報センターの他、観光庁や日本政府観光局、地方自治体等日本関係者は合計18団体が出展しました。

WTFでは、以前は各国政府観光局等により旅行目的地のPRが中心でしたが、最近の特徴として旅行会社ブースにおける旅行商品の即売が行われるようになってきています。WTF期間限定の割引商品販売や抽選会を行ったり、パソコンでのオンライン予約方法を説明する中国旅行社も多くなっています。

日本政府観光局によると、ビジット・ジャパンプースでは、具体的な訪日予

定のある来場者に加えて、現場での旅行商品購入には至らないものの、ビジットジャパングースで配布した大手旅行会社の訪日旅行商品情報のパンフレットを持ち帰って、今後の旅行先検討に向けて情報収集する来場者も多数見受けられたとのこと。また海外旅行のリピーター化や FIT 化の進展等に伴い、旅行目的地・旅行商品の選択肢が増えており、上海の消費者の知識や目的意識が高まってきている印象があったとのこと。

愛知県ブースにも多くの来場者が訪れ、「愛知県はどこにあるのか」や「東京からどれくらい時間がかかるのか」といった基本的な質問から、「訪問するにはどの時期がお勧めか」や「夏頃に訪問する予定があるが近くに温泉はあるか」といった具体的な質問まで、中国人の訪日観光への関心の高さを感じました。

また、今回は中部広域観光推進協議会もブース出展し、一緒に「昇龍道」のPRを行いました。



愛知県ブースの様子

上海産業情報センターでは、今後も引き続き中国人訪日観光客について、情報提供していきたいと思えます。